

2019年3月期 第2四半期(中間期)  
決算説明資料

# 【 目 次 】

## I 2019年3月期 第2四半期（中間期）決算の概況

1. 損益状況	単・連	1
2. 業務純益	単	2
3. 利鞘	単	3
4. 有価証券関係損益	単	
5. ROE	単	4
6. 自己資本比率（国内基準）	単・連	
7. 有価証券の評価損益	単・連	5

## II 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況	単・連	6
2. 貸倒引当金等の状況	単・連	7
3. リスク管理債権に対する保全率	単・連	
4. 金融再生法開示債権	単	8
5. 金融再生法開示債権の保全状況	単	
《参考》金融再生法開示債権と リスク管理債権の状況	単	9
6. 業種別貸出状況等		
①業種別貸出金	単	10
②業種別リスク管理債権	単	
③個人ローン残高	単	11
④中小企業等貸出金等	単	
7. 預金等、貸出金の残高	単	
8. 預り資産の残高	単	

## I 2019年3月期 第2四半期 (中間期) 決算の概況

### 1. 損益状況【単体】

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期比	2018年3月期 第2四半期
業 務 粗 利 益 ( 除 く 債 券 関 係 損 益 )	23,599 ( 24,539)	△ 1,359 ( △ 1,319)	24,958 ( 25,858)
国内業務粗利益 ( 除 く 債 券 関 係 損 益 )	20,963 ( 21,727)	△ 3,902 ( △ 3,480)	24,865 ( 25,207)
資 金 利 益	18,465	△ 1,666	20,131
役 務 取 引 等 利 益	2,864	21	2,843
そ の 他 業 務 利 益	△ 366	△ 2,256	1,890
国際業務粗利益 ( 除 く 債 券 関 係 損 益 )	2,636 ( 2,811)	2,543 ( 2,160)	93 ( 651)
資 金 利 益	1,863	324	1,539
役 務 取 引 等 利 益	69	0	69
そ の 他 業 務 利 益	703	2,218	△ 1,515
経 費 ( 除 く 臨 時 処 理 分 )	18,129	△ 283	18,412
人 件 費	9,172	△ 220	9,392
物 件 費	7,794	△ 48	7,842
税 金	1,161	△ 16	1,177
実 質 業 務 純 益 (注2)	5,470	△ 1,075	6,545
コ ア 業 務 純 益 (注2)	6,410	△ 1,035	7,445
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 ①	△ 60	290	△ 350
業 務 純 益	5,531	△ 1,365	6,896
う ち 債 券 関 係 損 益 ②	△ 940	△ 40	△ 900
臨 時 損 益	1,312	317	995
不 良 債 権 処 理 費 用 ③	2,921	1,807	1,114
う ち 貸 出 金 償 却	2,352	1,582	770
う ち 個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	503	146	357
償 却 債 権 取 立 益 ④	259	△ 158	417
株 式 等 関 係 損 益 ⑤	3,500	1,986	1,514
株 式 等 売 却 益	3,500	1,986	1,514
株 式 等 売 却 損	—	—	—
株 式 等 償 却	—	—	—
そ の 他 臨 時 損 益	473	294	179
経 常 利 益	6,843	△ 1,049	7,892
特 別 損 益	△ 68	△ 40	△ 28
う ち 固 定 資 産 処 分 損 益	△ 32	△ 37	5
う ち 減 損 損 失	36	2	34
税 引 前 中 間 純 利 益	6,774	△ 1,089	7,863
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	2,323	461	1,862
法 人 税 等 調 整 額	△ 158	△ 762	604
中 間 純 利 益	4,609	△ 787	5,396
有 価 証 券 関 係 損 益 ② + ⑤	2,560	1,946	614
与 信 関 係 費 用 ①+③-④	2,601	2,255	346

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額-債券関係損益  
実質業務純益=コア業務純益+債券関係損益

**【連結】**

＜連結損益計算書ベース＞

（単位：百万円）

	2019年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期比	2018年3月期 第2四半期
連 結 粗 利 益	24,523	△ 1,704	26,227
資 金 利 益	20,250	△ 1,588	21,838
役 務 取 引 等 利 益	3,935	△ 79	4,014
そ の 他 業 務 利 益	337	△ 37	374
う ち 債 券 関 係 損 益	△ 940	△ 40	△ 900
営 業 経 費	18,967	△ 735	19,702
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	△ 123	△ 123	—
不 良 債 権 処 理 費 用	3,036	2,262	774
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	—	△ 52	52
株 式 関 係 損 益	3,500	1,986	1,514
そ の 他	1,383	△ 389	1,772
経 常 利 益	7,526	△ 1,563	9,089
特 別 損 益	△ 71	△ 60	△ 11
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	7,455	△ 1,623	9,078
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	2,600	464	2,136
法 人 税 等 調 整 額	△ 128	△ 850	722
中 間 純 利 益	4,983	△ 1,236	6,219
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	115	△ 61	176
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	4,867	△ 1,176	6,043
有 価 証 券 関 係 損 益	2,560	1,946	614
与 信 関 係 費 用	2,653	2,352	301

（注）連結粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用）＋信託報酬＋（役務取引等収益－役務取引等費用）  
＋（その他業務収益－その他業務費用）

（連結対象会社数）

（単位：社）

連 結 子 会 社 数	10	—	10
持 分 法 適 用 会 社 数	—	—	—

2. 業務純益【単体】

（単位：百万円）

	2019年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期比	2018年3月期 第2四半期
(1) 実 質 業 務 純 益	5,470	△ 1,075	6,545
職 員 一 人 当 たり (千 円)	2,508	△ 385	2,893
(2) コ ア 業 務 純 益	6,410	△ 1,035	7,445
職 員 一 人 当 たり (千 円)	2,939	△ 352	3,291
(3) 業 務 純 益	5,531	△ 1,365	6,896
職 員 一 人 当 たり (千 円)	2,535	△ 513	3,048

（注）職員数は中間期末日在職人員（出向者を除く）を採用しております。

### 3. 利鞘【単体】

(全店)

(単位：%)

	2019年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期比	2018年3月期 第2四半期
(1) 資金運用利回 (A)	1.13	0.02	1.11
(イ) 貸出金利回	1.09	△ 0.04	1.13
(ロ) 有価証券利回	1.48	0.27	1.21
(2) 資金調達原価 (B)	0.95	0.03	0.92
(イ) 預金等利回	0.05	0.00	0.05
(ロ) 外部負債利回	0.34	0.06	0.28
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.18	△ 0.01	0.19

(国内業務部門)

(単位：%)

	2019年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期比	2018年3月期 第2四半期
(1) 資金運用利回 (A)	0.93	△ 0.05	0.98
(イ) 貸出金利回	1.00	△ 0.07	1.07
(ロ) 有価証券利回	1.26	0.11	1.15
(2) 資金調達原価 (B)	0.81	△ 0.01	0.82
(イ) 預金等利回	0.00	△ 0.01	0.01
(ロ) 外部負債利回	0.00	0.01	△ 0.01
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.12	△ 0.04	0.16

### 4. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期比	2018年3月期 第2四半期
債券関係損益 (A)	△ 940	△ 40	△ 900
売却益	1,620	△ 2,023	3,643
償還益	—	—	—
売却損	2,528	△ 2,012	4,540
償還損	—	—	—
償却	31	28	3
株式関係損益 (B)	3,500	1,986	1,514
売却益	3,500	1,986	1,514
売却損	—	—	—
償却	—	—	—
有価証券関係損益 (A) + (B)	2,560	1,946	614

## 5. ROE【単体】

(単位：%)

	2019年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期比	2018年3月期 第2四半期
実質業務純益ベース	3.89	△ 0.86	4.75
コア業務純益ベース	4.56	△ 0.84	5.40
業務純益ベース	3.94	△ 1.06	5.00
中間純利益ベース	3.28	△ 0.63	3.91

(注) 算定方法は以下のとおりです。なお、純資産の部合計は新株予約権を控除しております。

$$\frac{\text{実質業務純益、コア業務純益、業務純益 又は 中間純利益}}{(\text{期首純資産の部合計} + \text{中間期末純資産の部合計}) \div 2} \times \frac{365}{183} \times 100$$

## 6. 自己資本比率 (国内基準)

自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(2006年金融庁告示第19号)に定められた算式に基づき算出しております。

なお、当行は国内基準を適用しており、自己資本比率規制(第1の柱)に関する告示(2006年金融庁告示第19号)の一部改正に伴い、2014年3月末よりバーゼルⅢ基準にて自己資本比率を算出しております。

また、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては粗利益配分手法を採用しております。

### 【単体】

(単位：百万円、%)

	2018年9月末	2018年3月末比	2018年3月末
1. 自己資本比率(2/3)	8.81	△ 0.23	9.04
2. 単体における自己資本の額	224,547	△ 7,613	232,160
3. リスク・アセットの額	2,548,273	△ 17,477	2,565,750
4. 単体総所要自己資本額	101,930	△ 700	102,630

### 【連結】

(単位：百万円、%)

	2018年9月末	2018年3月末比	2018年3月末
1. 連結自己資本比率(2/3)	9.19	△ 0.23	9.42
2. 連結における自己資本の額	236,798	△ 7,396	244,194
3. リスク・アセットの額	2,574,494	△ 17,588	2,592,082
4. 連結総所要自己資本額	102,979	△ 704	103,683

## 7. 有価証券の評価損益

### (1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的の債券	償却原価法
子会社株式等及び関連会社株式	原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入)

### (参考) 金銭の信託中の有価証券

運用目的の金銭の信託	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的の金銭の信託	該当ありません
その他の金銭の信託	該当ありません

### (2) 評価損益

(単位: 百万円)

【単体】	2018年9月末					2018年3月末			2017年9月末		
	評価損益					評価損益			評価損益		
	2018年3月末比	2017年9月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損	
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	77,474	6,811	△5,605	87,297	9,822	70,663	83,630	12,966	83,079	94,053	10,973
株式	79,821	7,362	176	81,645	1,824	72,459	76,433	3,973	79,645	82,883	3,237
債券	2,398	△2,493	△2,475	3,702	1,304	4,891	5,199	307	4,873	6,331	1,457
その他	△4,744	1,943	△3,306	1,948	6,693	△6,687	1,998	8,685	△1,438	4,839	6,278
合計	77,474	6,811	△5,605	87,297	9,822	70,663	83,630	12,966	83,079	94,053	10,973
株式	79,821	7,362	176	81,645	1,824	72,459	76,433	3,973	79,645	82,883	3,237
債券	2,398	△2,493	△2,475	3,702	1,304	4,891	5,199	307	4,873	6,331	1,457
その他	△4,744	1,943	△3,306	1,948	6,693	△6,687	1,998	8,685	△1,438	4,839	6,278

(単位: 百万円)

【連結】	2018年9月末					2018年3月末			2017年9月末		
	評価損益					評価損益			評価損益		
	2018年3月末比	2017年9月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損	
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	78,039	6,817	△5,591	87,861	9,822	71,222	84,189	12,966	83,630	94,603	10,973
株式	80,385	7,368	190	82,210	1,824	73,017	76,991	3,973	80,195	83,433	3,237
債券	2,398	△2,493	△2,475	3,702	1,304	4,891	5,199	307	4,873	6,331	1,457
その他	△4,744	1,943	△3,306	1,948	6,693	△6,687	1,998	8,685	△1,438	4,839	6,278
合計	78,039	6,817	△5,591	87,861	9,822	71,222	84,189	12,966	83,630	94,603	10,973
株式	80,385	7,368	190	82,210	1,824	73,017	76,991	3,973	80,195	83,433	3,237
債券	2,398	△2,493	△2,475	3,702	1,304	4,891	5,199	307	4,873	6,331	1,457
その他	△4,744	1,943	△3,306	1,948	6,693	△6,687	1,998	8,685	△1,438	4,839	6,278

(注) 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(連結) 貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

## II 貸出金等の状況

### 1. リスク管理債権の状況

部分直接償却……………2001年3月末より実施しております。

未収利息計上基準……………自己査定における破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する未収利息を収益不計上としております。

#### 【単体】

（単位：百万円）

		2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比	2018年3月末	2017年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	998	△ 12	373	1,010	625
	延滞債権額	24,761	1,226	△ 2,191	23,535	26,952
	3カ月以上延滞債権額	515	△ 51	141	566	374
	貸出条件緩和債権額	23,228	△ 626	△ 499	23,854	23,727
	合計	49,504	538	△ 2,175	48,966	51,679

貸出金残高（未残）	2,814,244	△ 23,598	42,990	2,837,842	2,771,254
-----------	-----------	----------	--------	-----------	-----------

（単位：％）

貸出金残高比	破綻先債権額	0.03	0.00	0.01	0.03	0.02
	延滞債権額	0.87	0.05	△ 0.10	0.82	0.97
	3カ月以上延滞債権額	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01
	貸出条件緩和債権額	0.82	△ 0.02	△ 0.03	0.84	0.85
	合計	1.75	0.03	△ 0.11	1.72	1.86

#### 【連結】

（単位：百万円）

		2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比	2018年3月末	2017年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	1,117	△ 17	387	1,134	730
	延滞債権額	25,085	1,221	△ 2,096	23,864	27,181
	3カ月以上延滞債権額	516	△ 51	142	567	374
	貸出条件緩和債権額	23,228	△ 626	△ 499	23,854	23,727
	合計	49,947	527	△ 2,066	49,420	52,013

貸出金残高（未残）	2,809,042	△ 24,484	41,648	2,833,526	2,767,394
-----------	-----------	----------	--------	-----------	-----------

（単位：％）

貸出金残高比	破綻先債権額	0.03	△ 0.01	0.01	0.04	0.02
	延滞債権額	0.89	0.05	△ 0.09	0.84	0.98
	3カ月以上延滞債権額	0.01	△ 0.01	0.00	0.02	0.01
	貸出条件緩和債権額	0.82	△ 0.02	△ 0.03	0.84	0.85
	合計	1.77	0.03	△ 0.10	1.74	1.87



## 2. 貸倒引当金等の状況

### 【単体】

(単位：百万円)

	2018年9月末	2018年3月末比		2018年3月末	2017年9月末
		2018年3月末比	2017年9月末比		
貸倒引当金	13,572	△ 324	△ 393	13,896	13,965
一般貸倒引当金	7,074	△ 61	278	7,135	6,796
個別貸倒引当金	6,498	△ 263	△ 670	6,761	7,168

### 【連結】

(単位：百万円)

	2018年9月末	2018年3月末比		2018年3月末	2017年9月末
		2018年3月末比	2017年9月末比		
貸倒引当金	15,819	△ 362	△ 304	16,181	16,123
一般貸倒引当金	7,349	△ 124	282	7,473	7,067
個別貸倒引当金	8,469	△ 239	△ 587	8,708	9,056

## 3. リスク管理債権に対する保全率

### 【単体】

(単位：百万円、%)

	2018年9月末	2018年3月末比		2018年3月末	2017年9月末
		2018年3月末比	2017年9月末比		
リスク管理債権額 (A)	49,504	538	△ 2,175	48,966	51,679
貸倒引当金 (B)	10,596	△ 270	△ 551	10,866	11,147
担保保証等 (C)	17,433	276	△ 1,105	17,157	18,538
貸倒引当金引当率 (B/A)	21.40	△ 0.79	△ 0.16	22.19	21.56
保全率 (B+C)/(A)	56.61	△ 0.61	△ 0.83	57.22	57.44

(注) 「貸倒引当金 (B)」は、「リスク管理債権額 (A)」について引き当てしている一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金の合計金額を記載しております。

### 【連結】

(単位：%)

リスク管理債権に対する保全率	54.91	△ 1.73	△ 1.85	56.64	56.76
----------------	-------	--------	--------	-------	-------

(注) 「単体」と同様に、「リスク管理債権額」について引き当てしている一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金の合計金額を「貸倒引当金」として、リスク管理債権に対する保全率を算出しております。

4. 金融再生法開示債権

【単体】

（単位：百万円）

		2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比	2018年3月末	2017年9月末
金融再生法開示債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,054	437	665	6,617	6,389
	危険債権	18,751	703	△ 2,452	18,048	21,203
	要管理債権	23,744	△ 677	△ 357	24,421	24,101
	小計(A)	49,550	463	△ 2,144	49,087	51,694
	正常債権	2,806,562	△ 23,602	50,049	2,830,164	2,756,513
	合計	2,856,113	△ 23,138	47,905	2,879,251	2,808,208

(注) 金融再生法に基づき、与信額（貸出金・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金〈貸出金に準ずるもの〉及び銀行保証付私募債）を対象とし債務者単位で区分しております。

（単位：％）

		2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比	2018年3月末	2017年9月末
構成比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.24	0.02	0.02	0.22	0.22
	危険債権	0.65	0.03	△ 0.10	0.62	0.75
	要管理債権	0.83	△ 0.01	△ 0.02	0.84	0.85
	小計	1.73	0.03	△ 0.11	1.70	1.84
	正常債権	98.26	△ 0.03	0.11	98.29	98.15

5. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

（単位：百万円）

		2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比	2018年3月末	2017年9月末
保全額(B)	貸倒引当金等	10,615	△ 306	△ 541	10,921	11,156
	担保保証等	17,460	271	△ 1,084	17,189	18,544
	合計	28,076	△ 35	△ 1,624	28,111	29,700

（単位：％）

保全率(B)/(A)		56.66	△ 0.60	△ 0.79	57.26	57.45
------------	--	-------	--------	--------	-------	-------

(注) 「貸倒引当金等」は、上記4.「金融再生法開示債権」中の(A)の債権について引き当てしている一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金の合計金額を記載しております。

《 参考 》 金融再生法開示債権とリスク管理債権の状況

【単体】

(単位：百万円)

自己査定		金融再生法開示債権			リスク管理債権	
債務者区分 与信残高(総与信比率)		区分 与信残高(総与信比率) (A)	担保・保証等 引当額 保全額合計(B)	保全率 (B) / (A)	区分 貸出金残高(総貸出金比率)	
破綻先債権 1,000 (0.03%)		破産更生債権及び これらに準ずる債権 7,054 (0.24%)	6,003	100.00%	破綻先債権 998 (0.03%)	
実質破綻先債権 6,054 (0.21%)			7,054			
破綻懸念先債権 18,751 (0.65%)		危険債権 18,751 (0.65%)	8,521	74.49%	延滞債権 24,761 (0.87%)	
			5,446			
			13,968			
要管理先 28,033 (0.98%)	要管理先 28,033 (0.98%)	要管理債権 23,744 (0.83%) ※ 貸出金のみ	2,935	29.70%	3カ月以上延滞債権 515 (0.01%)	
			4,117			
			7,053			
要注意先 債権 222,395 (7.78%)	その他 要注意先 194,362 (6.80%)	〔小計〕 49,550 (1.73%)	17,460	56.66%	〔合計〕 49,504 (1.75%)	
			10,615			
			28,076			
正常先債権 2,607,912 (91.30%)		正常債権 2,806,562 (98.26%)				
総与信残高 2,856,113 (100.00%)		総与信残高 2,856,113 (100.00%)			総貸出金残高 2,814,244 (100.00%)	

6. 業種別貸出状況等

①業種別貸出金【単体】

(単位：百万円)

	2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比	2018年3月末	2017年9月末
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	2,814,244	△ 23,598	42,990	2,837,842	2,771,254
製造業	456,320	△ 6,632	△ 5,168	462,952	461,488
農業, 林業	4,060	△ 430	△ 34	4,490	4,094
漁業	3,210	569	105	2,641	3,105
鉱業, 採石業, 砂利採取業	7,210	319	513	6,891	6,697
建設業	89,633	△ 4,734	△ 17	94,367	89,650
電気・ガス・熱供給・水道業	68,853	2,069	5,188	66,784	63,665
情報通信業	10,795	△ 565	△ 278	11,360	11,073
運輸業, 郵便業	135,574	995	△ 5,666	134,579	141,240
卸売業, 小売業	335,671	△ 11,782	△ 13,847	347,453	349,518
金融業, 保険業	88,892	6,319	7,998	82,573	80,894
不動産業, 物品賃貸業	366,060	2,274	20,893	363,786	345,167
宿泊業	9,572	497	1,378	9,075	8,194
飲食業	17,209	△ 728	△ 1,845	17,937	19,054
医療・福祉	103,154	1,407	2,421	101,747	100,733
その他のサービス	89,804	△ 977	5,604	90,781	84,200
地方公共団体	263,342	△ 19,319	9,316	282,661	254,026
その他	764,876	7,123	16,432	757,753	748,444
特別国際金融取引勘定分	-	-	-	-	-
合計	2,814,244	△ 23,598	42,990	2,837,842	2,771,254

②業種別リスク管理債権【単体】

(単位：百万円)

	2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比	2018年3月末	2017年9月末
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	49,504	538	△ 2,175	48,966	51,679
製造業	12,691	△ 150	△ 1,501	12,841	14,192
農業, 林業	83	12	21	71	62
漁業	150	△ 4	△ 4	154	154
鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	-	-	-	-
建設業	4,431	130	△ 56	4,301	4,487
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-
情報通信業	348	34	2	314	346
運輸業, 郵便業	1,339	563	474	776	865
卸売業, 小売業	7,947	△ 428	△ 83	8,375	8,030
金融業, 保険業	465	△ 11	△ 29	476	494
不動産業, 物品賃貸業	10,458	31	△ 723	10,427	11,181
宿泊業	572	62	141	510	431
飲食業	1,434	△ 50	295	1,484	1,139
医療・福祉	4,175	175	△ 902	4,000	5,077
その他のサービス	2,004	△ 109	△ 237	2,113	2,241
地方公共団体	-	-	-	-	-
その他	3,401	284	428	3,117	2,973
特別国際金融取引勘定分	-	-	-	-	-
合計	49,504	538	△ 2,175	48,966	51,679

③個人ローン残高【単体】

（単位：百万円）

	2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比	2018年3月末	2017年9月末
個人ローン残高	645,839	5,705	23,832	640,134	622,007
住宅ローン残高	549,702	5,598	23,432	544,104	526,270
その他ローン残高	96,136	106	400	96,030	95,736

④中小企業等貸出金等【単体】

（単位：百万円）

	2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比	2018年3月末	2017年9月末
中小企業等貸出金	2,019,151	15,259	54,137	2,003,892	1,965,014
中小企業等貸出金比率	71.74%	1.13%	0.84%	70.61%	70.90%
中小企業向け貸出金	1,432,537	9,607	29,738	1,422,930	1,402,799
個人向け貸出金	586,614	5,652	24,399	580,962	562,215
信用保証協会保証付貸出金	55,701	△ 398	△ 2,470	56,099	58,171

- （注） 1. 中小企業等貸出金とは、中小企業及び個人向け貸出金であります。  
 2. 中小企業向け貸出金には、個人事業主向け貸出金を含めております。

7. 預金等、貸出金の残高【単体】

（単位：百万円）

	2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比	2018年3月末	2017年9月末	
総預金	（末残）	4,114,788	48,588	61,787	4,066,200	4,053,001
	うち香川県	2,840,171	△ 8,067	15,471	2,848,238	2,824,700
	（平残）	4,127,811	52,913	40,007	4,074,898	4,087,804
貸出金	（末残）	2,814,244	△ 23,598	42,990	2,837,842	2,771,254
	うち香川県	1,156,089	△ 17,423	27,907	1,173,512	1,128,182
	（平残）	2,836,473	47,477	72,976	2,788,996	2,763,497

（注）総預金＝預金＋譲渡性預金

8. 預り資産の残高【単体】

（単位：百万円）

	2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比	2018年3月末	2017年9月末
預り資産残高	347,042	2,788	△ 14,919	344,254	361,961
公共債	26,638	△ 4,999	△ 10,662	31,637	37,300
投資信託	117,008	△ 3,241	△ 6,175	120,249	123,183
一時払保険	151,578	2,993	2,180	148,585	149,398
金融商品仲介	51,815	8,034	△ 264	43,781	52,079

（注）預り資産は、公共債は額面ベースの残高、その他は各期末日における時価ベースの残高であります。

# 2019年3月期 第2四半期（中間期） 決算の概要



140

140年分の「ありがとう」を未来へ

## 目次

	頁
1. 【連結】損益の状況（概要） . . . . .	1
2. 【単体】損益の状況（概要） . . . . .	2
3. 【単体】損益の状況（利益増減要因） . . . . .	3
4. 【単体】預金・預り資産の状況 . . . . .	4
5. 【単体】貸出金の状況 . . . . .	5
6. 【単体】有価証券の状況 . . . . .	6
7. 【連結・単体】経営の健全性 . . . . .	7
8. 【連結・単体】2019年3月期 通期の業績予想 . . . . .	8
9. 四国アライアンスにおける取り組み状況 . . . . .	9
10. 2019年3月期の配当方針 . . . . .	10

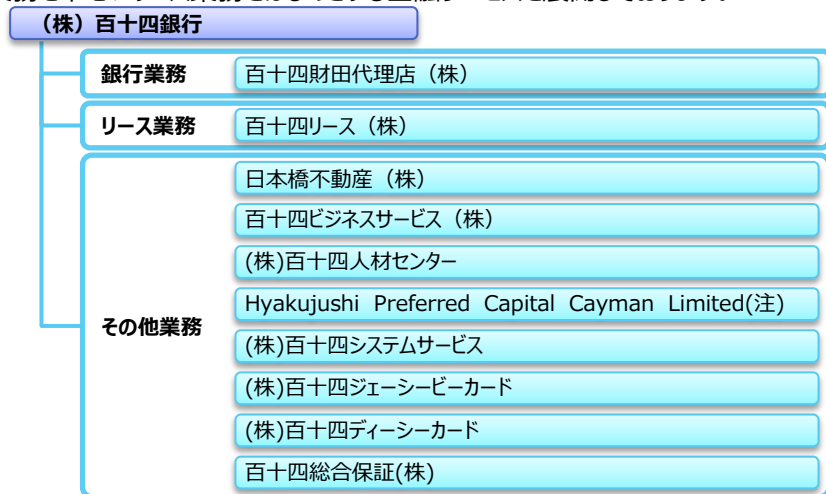
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 1. 【連結】損益の状況（概要）

(株)百十四銀行（8386）2019年3月期 第2四半期（中間期）決算短信

## ◆百十四グループ一覧（連結対象）

銀行業務を中心にリース業務をはじめとする金融サービスを展開しております。



(注)「Hyakujushi Preferred Capital Cayman Limited」は、2018年末までに会社清算予定。

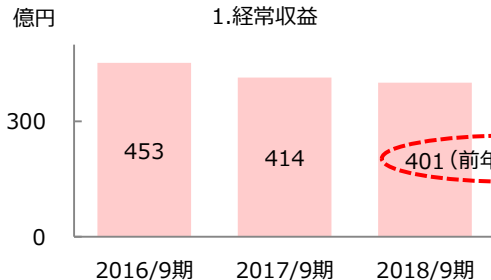
## ◆連結（業績ハイライト）

(単位：百万円)

	2017年 9月期	2018年 9月期	前年同期比	
			増減額	増減率
1 経常収益	41,479	40,146	△ 1,333	△ 3.2%
2 経常利益	9,089	7,526	△ 1,563	△ 17.2%
3 親会社株主に帰属する中間純利益	6,043	4,867	△ 1,176	△ 19.5%

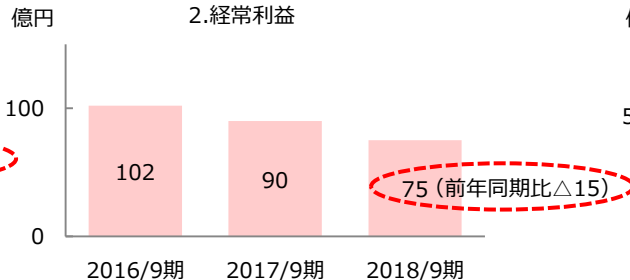
### 1. 経常収益

国債等債券売却益の減少によるその他業務収益の減少などにより、前年同期比13億33百万円減少して401億46百万円となりました。



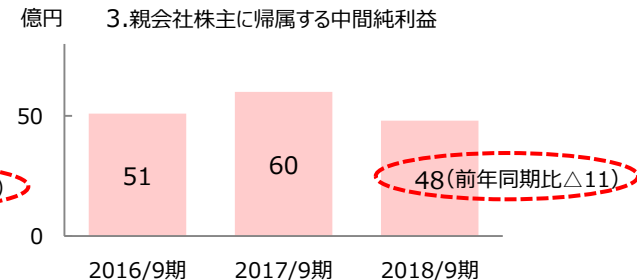
### 2. 経常利益

貸出金利息及び有価証券利息配当金の減少による資金利益の減少などにより、前年同期比15億63百万円減少して75億26百万円となりました。



### 3. 親会社株主に帰属する中間純利益

前年同期比11億76百万円減少して48億67百万円となりました。





## 2. 【単体】損益の状況（概要）

(株)百十四銀行（8386）2019年3月期 第2四半期（中間期）決算短信

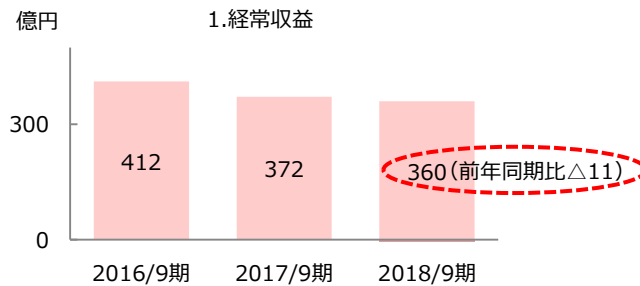
### ◆単体（業績ハイライト）

	(単位：百万円)			
	2017年 9月期	2018年 9月期	前年同期比	
			増減額	増減率
1 経常収益	37,240	36,085	△ 1,155	△ 3.1%
2 コア業務粗利益（注1）	25,858	24,539	△ 1,319	△ 5.1%
3 資金利益	21,671	20,328	△ 1,343	△ 6.2%
4 役務取引等利益	2,912	2,933	21	0.7%
5 その他業務利益（注2）	1,274	1,277	3	0.2%
6 経費	18,412	18,129	△ 283	△ 1.5%
7 うち人件費	9,392	9,172	△ 220	△ 2.3%
8 うち物件費	7,842	7,794	△ 48	△ 0.6%
9 コア業務純益（注3）	7,445	6,410	△ 1,035	△ 13.9%
10 債券関係損益	△ 900	△ 940	△ 40	-
11 実質業務純益（注4）	6,545	5,470	△ 1,075	△ 16.4%
12 一般貸倒引当金繰入額	△ 350	△ 60	290	-
13 業務純益（注5）	6,896	5,531	△ 1,365	△ 19.8%
14 臨時損益	995	1,312	317	31.9%
15 うち不良債権処理費用	1,114	2,921	1,807	162.2%
16 うち償却債権取立益	417	259	△ 158	△ 37.9%
17 うち株式等関係損益	1,514	3,500	1,986	131.2%
18 経常利益	7,892	6,843	△ 1,049	△ 13.3%
19 特別損益	△ 28	△ 68	△ 40	-
20 税引前中間純利益	7,863	6,774	△ 1,089	△ 13.8%
21 中間純利益	5,396	4,609	△ 787	△ 14.6%
22 有価証券関係損益（注6）	614	2,560	1,946	
23 与信関係費用（注7）	346	2,601	2,255	
24 与信関係費用比率（注8）	0.02%	0.18%	0.16%	
25 O H R（注9）	73.77%	76.82%	3.05%	
26 R O E（注10）	3.91%	3.28%	△ 0.63%	

(注) 1. コア業務粗利益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益 - 債券関係損益  
 2. 外国為替売買益、金融派生商品関係損益等。なお、債券関係損益を除く。  
 3. コア業務純益 = コア業務粗利益 - 経費  
 4. 実質業務純益 = コア業務純益 + 債券関係損益  
 5. 業務純益 = 実質業務純益 - 一般貸倒引当金繰入額  
 6. 有価証券関係損益 = 債券関係損益 + 株式等関係損益  
 7. 与信関係費用 = 一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理費用 - 償却債権取立益  
 8. 与信関係費用比率 = 与信関係費用 ÷ 貸出金期中平均残高 × (365/183)  
 9. O H R = 経費 ÷ (コア業務粗利益 + 債券関係損益)  
 10. R O E = 中間純利益 ÷ 純資産の部（期首残高と中間期末残高の平均残高）× (365/183)  
 \* 純資産の部は新株予約権控除後

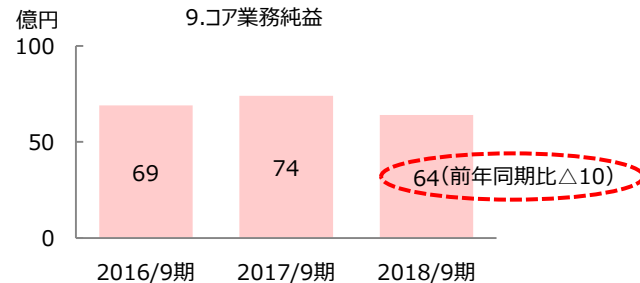
### 1. 経常収益

国債等債券売却益の減少によるその他業務収益の減少などにより、前年同期比11億55百万円減少して360億85百万円となりました。



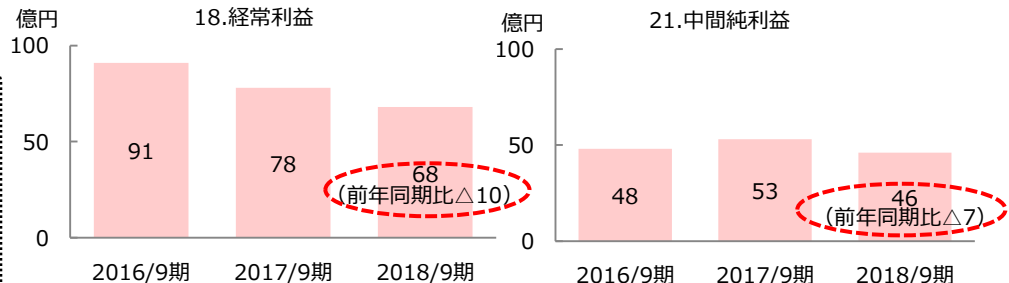
### 9. コア業務純益

貸出金利息及び有価証券利息配当金の減少による資金利益の減少などにより、前年同期比10億35百万円減少して64億10百万円となりました。



### 18. 経常利益、21. 中間純利益

コア業務純益の減少などにより、経常利益は、前年同期比10億49百万円減少して68億43百万円、中間純利益は、前年同期比7億87百万円減少して46億9百万円となりました。



### 3. 【単体】損益の状況（利益増減要因）

㈱百十四銀行（8386）2019年3月期 第2四半期（中間期）決算短信

#### ◆コア業務純益

貸出金利息及び有価証券利息配当金の減少による資金利益の減少などにより、前年同期比10億35百万円減少して64億10百万円となりました。（単位：百万円）

	2016年 9月期	2017年 9月期	2018年 9月期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
コア業務純益	6,996	7,445	6,410	△ 1,035	△ 13.9%
コア業務粗利益	25,569	25,858	24,539	△ 1,319	△ 5.1%
①資金利益	21,874	21,671	20,328	△ 1,343	△ 6.2%
②役員取引等利益	2,819	2,912	2,933	21	0.7%
③その他業務利益（注）	875	1,274	1,277	3	0.2%
④経費	18,573	18,412	18,129	△ 283	△ 1.5%
人件費	9,634	9,392	9,172	△ 220	△ 2.3%
物件費	7,823	7,842	7,794	△ 48	△ 0.6%
税金	1,115	1,177	1,161	△ 16	△ 1.4%

（注）債券関係損益を除く。

#### ◆資金利益

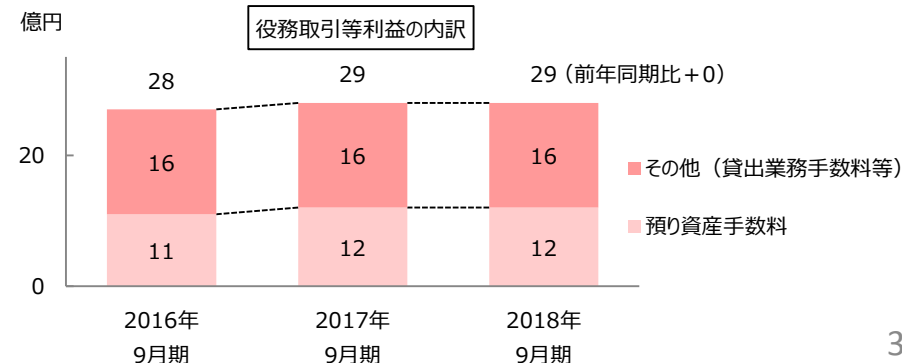
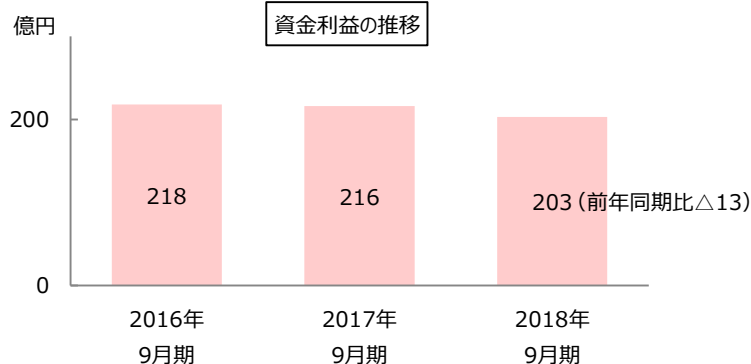
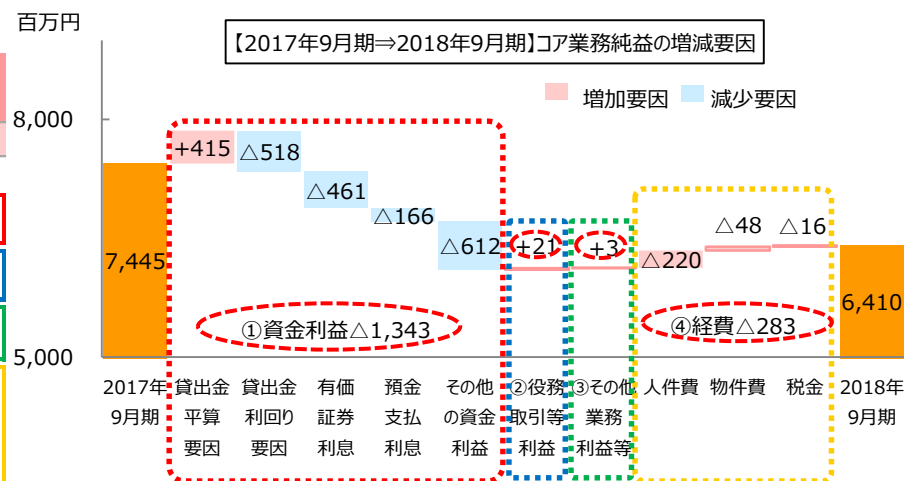
前年同期比13億43百万円減少して203億28百万円となりました。（単位：百万円）

	2016年 9月期	2017年 9月期	2018年 9月期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
資金利益	21,874	21,671	20,328	△ 1,343	△ 6.2%
資金運用勘定	24,568	24,665	23,884	△ 781	△ 3.2%
貸出金利息	16,004	15,731	15,628	△ 103	△ 0.7%
有価証券利息	8,323	8,465	8,004	△ 461	△ 5.4%
その他（市場運用収益等）	240	468	251	△ 217	△ 46.4%
資金調達勘定	2,695	2,994	3,556	562	18.8%
預金等利息	1,014	1,047	1,213	166	15.9%
その他（市場調達費用等）	1,680	1,947	2,342	395	20.3%

#### ◆役員取引等利益

預り資産手数料の増加により、前年同期比21百万円増加して29億33百万円となりました。（単位：百万円）

	2016年 9月期	2017年 9月期	2018年 9月期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
役員取引等利益	2,819	2,912	2,933	21	0.7%
預り資産手数料	1,179	1,259	1,268	9	0.7%
その他（貸出業務手数料等）	1,640	1,653	1,665	12	0.7%



## 4. 【単体】預金・預り資産の状況

(株)百十四銀行(8386) 2019年3月期 第2四半期(中間期) 決算短信

### ◆総預金(預金+譲渡性預金) 期末残高

公共預金は減少しましたが、個人及び法人預金が増加したことにより、前年同期末比617億円増加して4兆1,147億円となりました。(単位:億円)

	2016年	2017年	2018年	前年同期末比	
	9月期	9月期	9月期	増減額	増減率
総預金期末残高	41,574	40,530	41,147	617	1.5%
個人預金	23,044	23,475	23,887	412	1.8%
法人預金	16,763	15,589	15,956	367	2.4%
公共預金	1,767	1,465	1,303	△ 162	△ 11.1%

### ◆総預金(預金+譲渡性預金) 地域別残高

地元香川県における残高は、前年同期末比154億円増加して2兆8,401億円となりました。(単位:億円)

	2016年	2017年	2018年	前年同期末比	
	9月期	9月期	9月期	増減額	増減率
総預金期末残高	41,574	40,530	41,147	617	1.5%
香川県内	27,760	28,247	28,401	154	0.5%
香川県外	13,814	12,283	12,746	463	3.8%

### ◆預り資産 期末残高

公共債の減少を主な要因として、前年同期末比149億円減少の3,470億円となりました。(単位:億円)

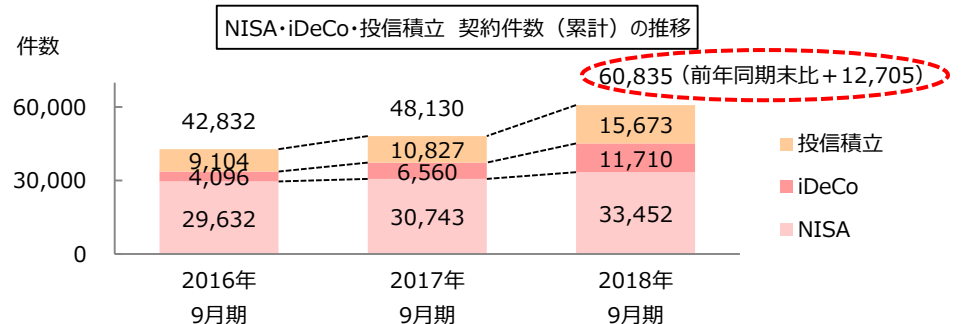
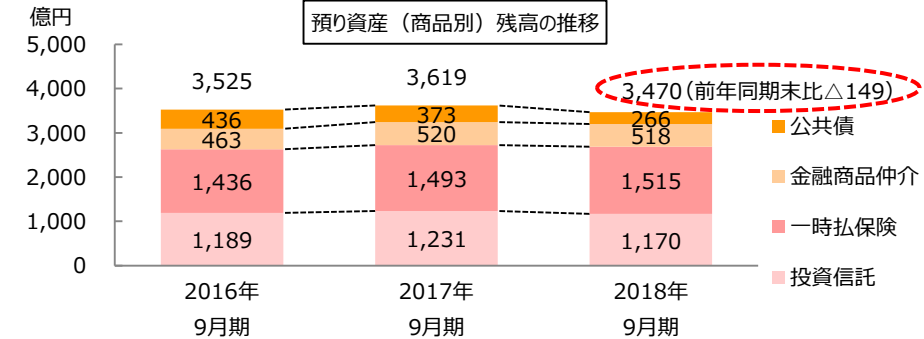
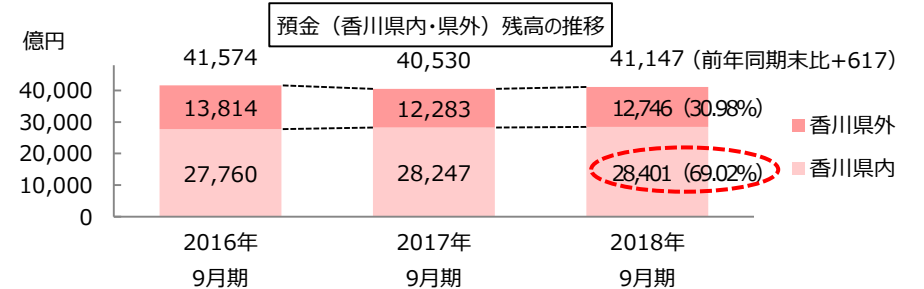
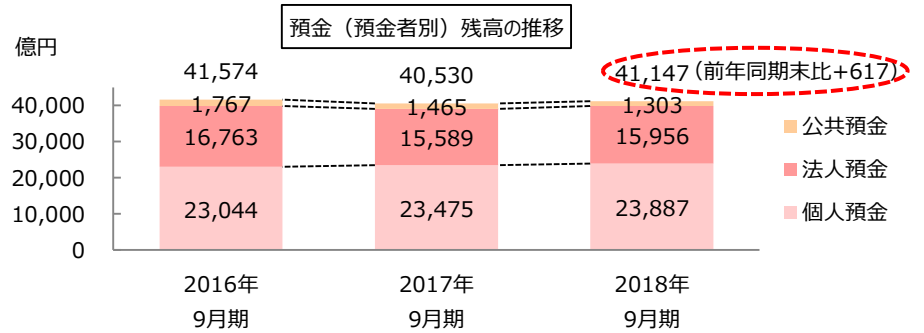
	2016年	2017年	2018年	前年同期末比	
	9月期	9月期	9月期	増減額	増減率
預り資産残高	3,525	3,619	3,470	△ 149	△ 4.1%
公共債	436	373	266	△ 107	△ 28.7%
金融商品仲介	463	520	518	△ 2	△ 0.4%
一時払保険	1,436	1,493	1,515	22	1.5%
投資信託	1,189	1,231	1,170	△ 61	△ 5.0%

### ◆NISA・iDeCo・投信積立 契約件数

契約件数累計は、前年同期末比12,705件の増加となりました。

(単位:件)

	2016年	2017年	2018年	前年同期末比	
	9月期	9月期	9月期	増減数	増減率
契約件数累計	42,832	48,130	60,835	12,705	26.4%
NISA (非課税口座)	29,632	30,743	33,452	2,709	8.8%
iDeCo (個人型確定拠出年金)	4,096	6,560	11,710	5,150	78.5%
投信積立	9,104	10,827	15,673	4,846	44.8%



## 5. 【単体】貸出金の状況

(株)百十四銀行 (8386) 2019年3月期 第2四半期 (中間期) 決算短信

### ◆貸出金期末残高

大・中堅企業向け貸出金は減少しましたが、中小企業、公共及び個人向け貸出金が増加したことにより、前年同期末比430億円増加して2兆8,142億円となりました。

中小企業向け貸出金は、地元香川県及び広域瀬戸内圏において、事業性評価に基づいた金融仲介機能の発揮に努めた結果、前年同期末比298億円増加して1兆4,325億円となりました。

個人向け貸出金は、前年同期末比244億円増加して5,866億円となりました。なかでも住宅ローンは、前年同期末比235億円増加して5,497億円となりました。

(単位：億円)

	2016年	2017年	2018年	前年同期末比	
	9月期	9月期	9月期	増減額	増減率
貸出金末残	27,407	27,712	28,142	430	1.6%
大・中堅企業向け貸出金	5,865	5,522	5,317	△ 205	△ 3.7%
中小企業等貸出金	18,624	19,650	20,191	541	2.8%
中小企業向け貸出金	13,336	14,027	14,325	298	2.1%
個人向け貸出金	5,288	5,622	5,866	244	4.3%
住宅ローン	4,950	5,262	5,497	235	4.5%
公共向け貸出金	2,918	2,540	2,633	93	3.7%

### ◆貸出金地域別残高

地元香川県における貸出金残高は、前年同期末比279億円増加して1兆1,560億円となりました。

(単位：億円)

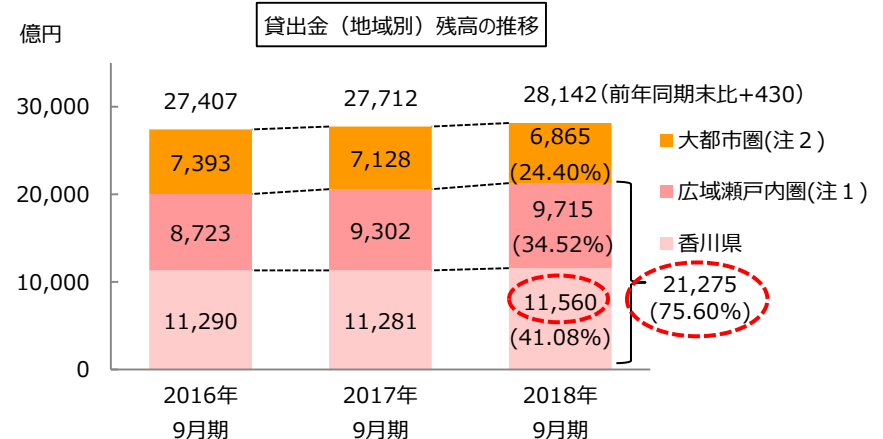
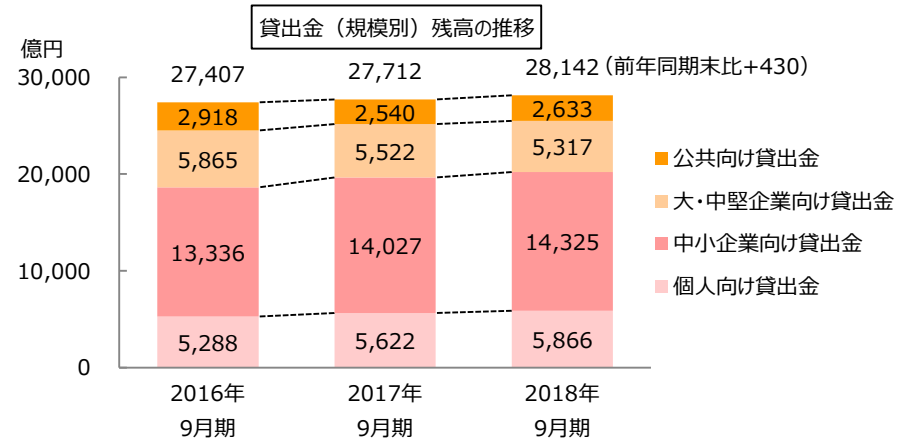
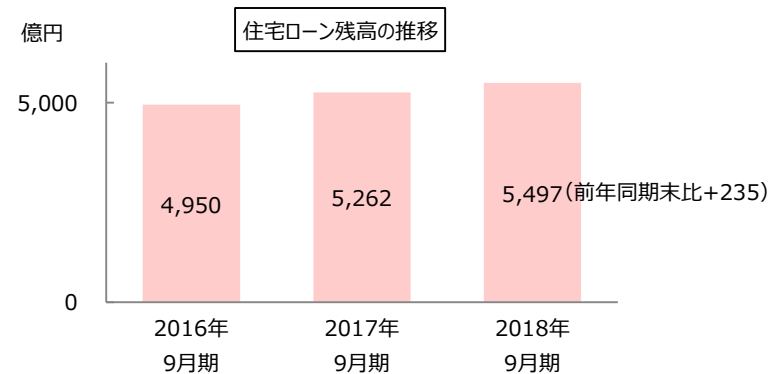
	2016年	2017年	2018年	前年同期末比	
	9月期	9月期	9月期	増減額	増減率
貸出金末残	27,407	27,712	28,142	430	1.6%
香川県	11,290	11,281	11,560	279	2.5%
広域瀬戸内圏(注1)	8,723	9,302	9,715	413	4.4%
大都市圏(注2)	7,393	7,128	6,865	△ 263	△ 3.7%

(注) 1.広域瀬戸内圏

愛媛、徳島、高知、岡山、広島、兵庫、福岡

2.大都市圏

東京、大阪、名古屋



## 6. 【単体】有価証券の状況

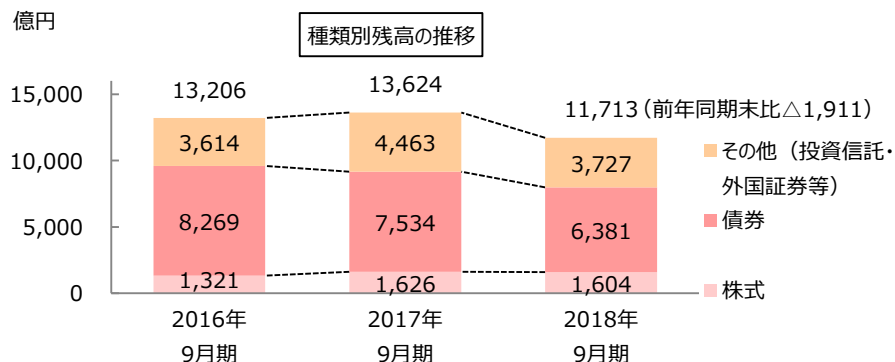
(株)百十四銀行(8386) 2019年3月期 第2四半期(中間期) 決算短信

### ◆有価証券期末残高

債券及びその他(投資信託・外国証券等)を中心に売却した結果、前年同期末比1,911億円減少の1兆1,713億円となりました。

(単位:億円)

	2016年	2017年	2018年	前年同期末比	
	9月期	9月期	9月期	増減額	増減率
有価証券期末残高	13,206	13,624	11,713	△ 1,911	△ 14.0%
株式	1,321	1,626	1,604	△ 22	△ 1.4%
債券	8,269	7,534	6,381	△ 1,153	△ 15.3%
国債	4,354	3,465	3,154	△ 311	△ 9.0%
地方債	1,339	1,442	1,232	△ 210	△ 14.6%
社債	2,575	2,625	1,994	△ 631	△ 24.0%
その他(投資信託・外国証券等)	3,614	4,463	3,727	△ 736	△ 16.5%

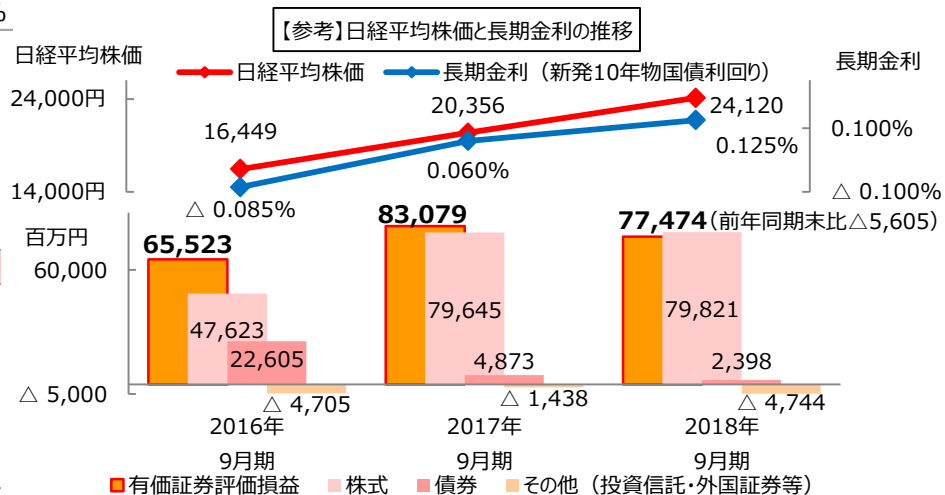


### ◆有価証券評価損益

株式は増加しましたが、債券及びその他(投資信託・外国証券等)が減少したことにより、前年同期末比56億5百万円減少して774億74百万円となりました。

(単位:百万円)

	2016年	2017年	2018年	前年同期末比	
	9月期	9月期	9月期	増減額	増減率
有価証券評価損益	65,523	83,079	77,474	△ 5,605	△ 6.7%
株式	47,623	79,645	79,821	176	0.2%
債券	22,605	4,873	2,398	△ 2,475	△ 50.8%
国債	15,811	3,307	2,068	△ 1,239	△ 37.5%
地方債	3,741	997	467	△ 530	△ 53.2%
社債	3,052	568	137	△ 705	-
その他(投資信託・外国証券等)	△ 4,705	△ 1,438	△ 4,744	△ 3,306	-

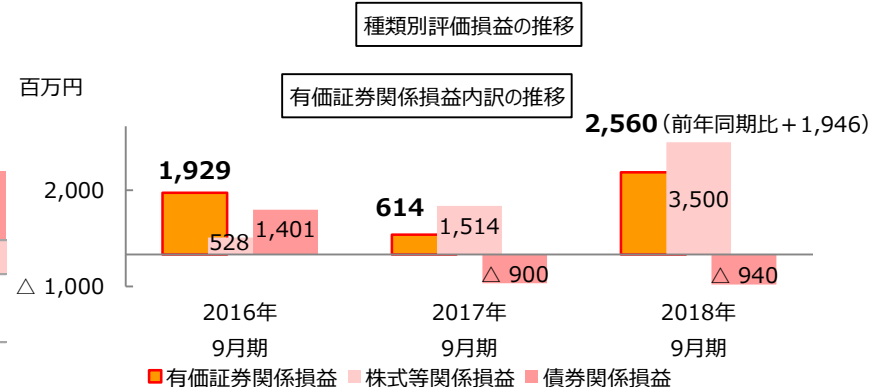


### ◆有価証券関係損益

債券関係損益は減少しましたが、株式等関係損益の増加により、前年同期比19億46百万円増加して25億60百万円となりました。

(単位:百万円)

	2016年	2017年	2018年	前年同期比	
	9月期	9月期	9月期	増減額	増減率
有価証券関係損益	1,929	614	2,560	1,946	316.9%
株式等関係損益	528	1,514	3,500	1,986	131.2%
債券関係損益	1,401	△ 900	△ 940	△ 40	-



## 7. 【連結・単体】経営の健全性

(株)百十四銀行(8386) 2019年3月期 第2四半期(中間期) 決算短信

### ◆不良債権(金融再生法開示債権ベース)の状況

不良債権に対しては、担保及び貸倒引当金により適正かつ十分な対応を行っておりますが、お取引先の経営支援に積極的に取り組みつつ、必要な処理を迅速に進めてまいります。

金融再生法開示債権ベースの不良債権残高は、前期末比5億円増加して496億円となりました。

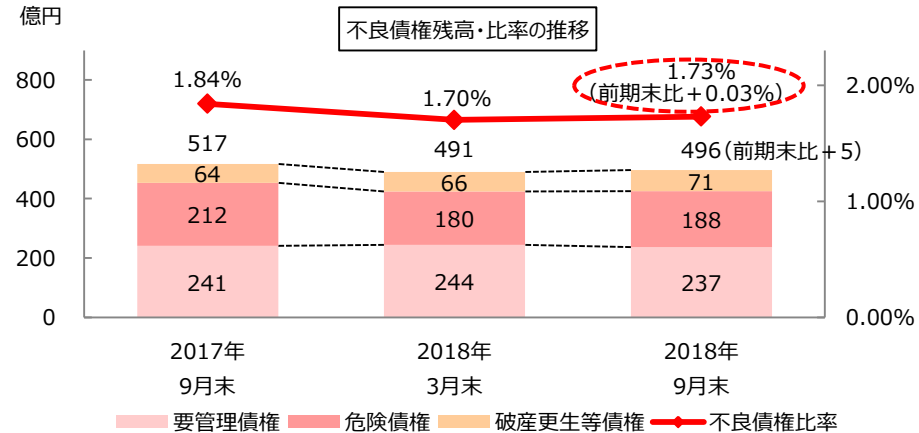
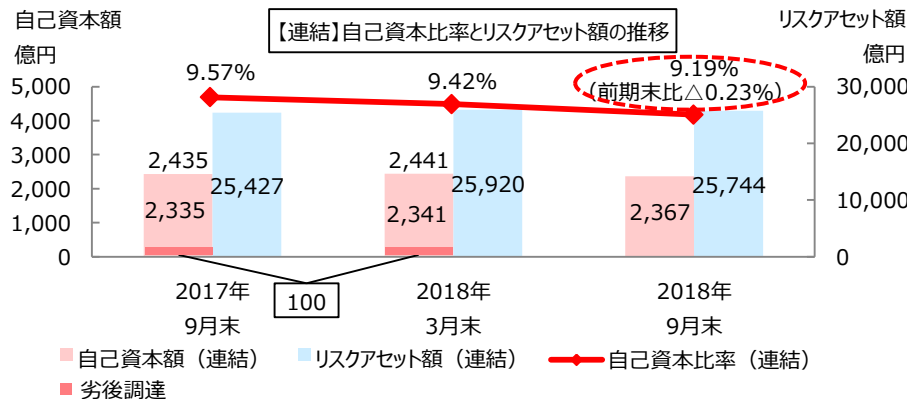
	2017年	2018年	2018年	前期末比	
	9月末	3月末	9月末	増減額	増減率
不良債権残高	517	491	496	5	1.0%
破産更生等債権	64	66	71	5	7.6%
危険債権	212	180	188	8	4.4%
要管理債権	241	244	237	△7	△2.9%
債権合計	28,082	28,793	28,561	△232	△0.8%
不良債権比率	1.84%	1.70%	1.73%	0.03%	-

### ◆自己資本比率(連結・単体)の状況

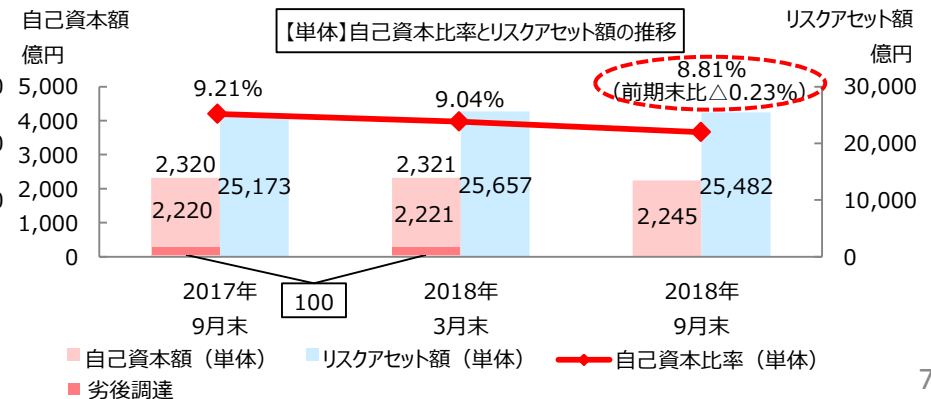
自己資本比率は、銀行の健全性を示す指標の一つです。

2018年9月末の自己資本比率は、資本として算入していた劣後調達100億円を期限前償還したことにより、自己資本額が減少したことから、自己資本比率規制(国内基準)に基づく当行の連結自己資本比率は9.19%、単体自己資本比率は8.81%となりました。

連結	2017年	2018年	2018年	前期末比	
	9月末	3月末	9月末	増減額	増減率
自己資本比率(連結)	9.57%	9.42%	9.19%	△0.23%	-
自己資本額(連結)	2,435	2,441	2,367	△74	△3.0%
うち劣後調達	100	100	-	△100	-
リスクアセット額(連結)	25,427	25,920	25,744	△176	△0.7%



単体	2017年	2018年	2018年	前期末比	
	9月末	3月末	9月末	増減額	増減率
自己資本比率(単体)	9.21%	9.04%	8.81%	△0.23%	-
自己資本額(単体)	2,320	2,321	2,245	△76	△3.3%
うち劣後調達	100	100	-	△100	-
リスクアセット額(単体)	25,173	25,657	25,482	△175	△0.7%



## 8. 【連結・単体】2019年3月期 通期の業績予想

(株)百十四銀行 (8386) 2019年3月期 第2四半期 (中間期) 決算短信

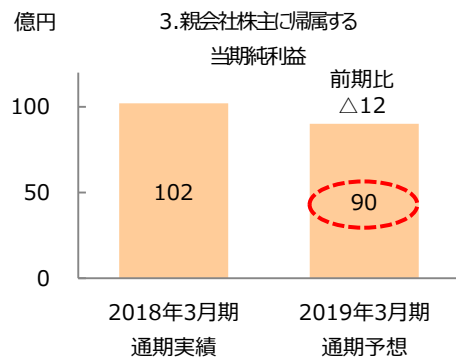
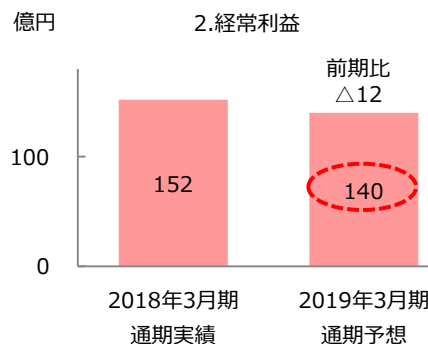
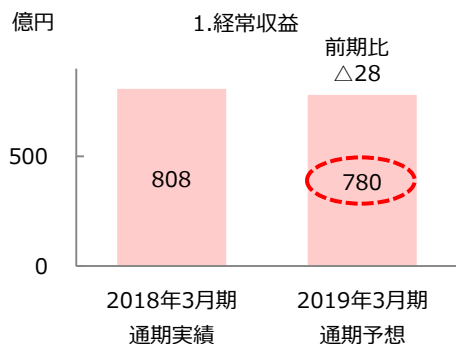
2019年3月期通期の業績につきましては、下記のとおり予想しております。

### 連結 (業績予想)

1. 経常収益 78,000百万円 (前期比△2,813百万円)
2. 経常利益 14,000百万円 (前期比△1,279百万円)
3. 親会社株主に帰属する当期純利益  
9,000百万円 (前期比△1,227百万円)

(単位：百万円)

	2018年 3月期 通期実績	修正前 通期予想	2019年3月期		
			修正後 通期予想 (修正額)	増減額	増減率
1 経常収益	80,813	78,000	<u>78,000</u> ( - )	<u>△ 2,813</u>	△ 3.5%
2 経常利益	15,279	15,500	<u>14,000</u> (△1,500)	<u>△ 1,279</u>	△ 8.4%
3 親会社株主に帰属する 当期純利益	10,227	10,000	<u>9,000</u> (△1,000)	<u>△ 1,227</u>	△ 12.0%

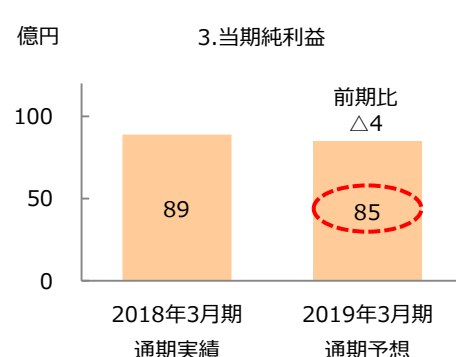
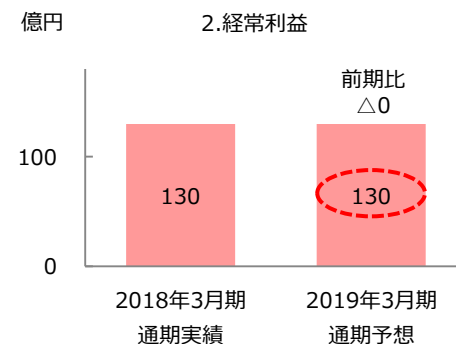
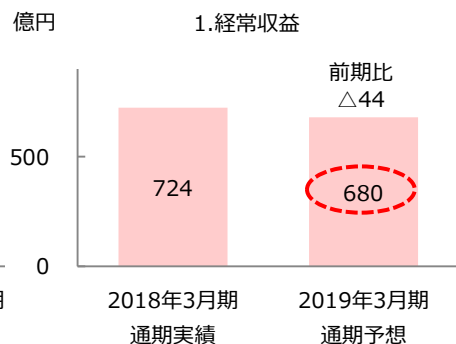


### 単体 (業績予想)

1. 経常収益 68,000百万円 (前期比△4,416百万円)
2. 経常利益 13,000百万円 (前期比△16百万円)
3. 当期純利益 8,500百万円 (前期比△465百万円)

(単位：百万円)

	2018年 3月期 通期実績	修正前 通期予想	2019年3月期		
			修正後 通期予想 (修正額)	増減額	増減率
1 経常収益	72,416	66,000	<u>68,000</u> (+2,000)	<u>△ 4,416</u>	△ 6.1%
2 経常利益	13,016	14,000	<u>13,000</u> (△1,000)	<u>△ 16</u>	△ 0.1%
3 当期純利益	8,965	9,000	<u>8,500</u> (△500)	<u>△ 465</u>	△ 5.2%



2016年11月、当行を含む四国の地方銀行4行(百十四銀行、阿波銀行、伊予銀行、四国銀行)は四国創生に向けた包括提携「四国アライアンス」を締結。「興す」「活かす」「繋げる」「育む」という4つに、これらを支える「協働する」を加えた5つのテーマのもと、これまでに多くの施策に取り組んでまいりました。

◆これまでの実施施策

**興す**

- ファンド運営会社を共同設立 (2018年1月)
- 事業承継や再生ニーズを対象としたファンドを総額70億円組成 (2018年3月)
- 第1回四国アライアンスビジネスプランコンテストを開催 (2018年3月)

**繋げる**

- 4行でビジネスマッチングを開始  
登録件数は2,500件を超え、成約数は400件を突破 (2018年9月末)
- 上海ビジネス交流会の開催 (2017年7月)
- インバウンド商談会の開催 (2017年11月)
- 四国輸出商談会の開催 (2017年12月、2018年7月)

**協働する**

- 研修の相互開放 (2017年4月～)
- 4行間での人財交流 (2018年4月～)

**活かす**

- 抽選で4県の地元産品をお届けする「スタートアップキャンペーン」を実施 (2017年4月)

**育む**

- いよぎん証券を四国アライアンス証券に社名変更 (2018年4月)
- 投資信託「四国の未来」を共同組成 (2017年7月)
- 一時払保険「四国の絆」を共同開発 (2017年9月)



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス



阿波銀行



百十四銀行



伊予銀行



四国銀行

◆2018年上期 実施施策

実施時期	内容
2018年4月	いよぎん証券を四国アライアンス証券に社名変更
6月	「新幹線を活かした四国の地域づくりビジョン調査」発表
7月	「第2回四国輸出商談会」を開催
	「次世代リーダー研修会」を4行協働開催
	「女性リーダー研修会」を4行協働開催
8月	「ウェイクボード世界選手権大会」への協賛
9月	「しこく創生ファンド」第1号案件に投資



今後とも株主の皆さまへの還元を着実に実施してまいります。2019年3月期は創業140周年の記念配当を予定しております。

## ◆2019年3月期の配当方針について

### 【年間配当】

2016年3月期より1株当たり**8円**を継続しています。

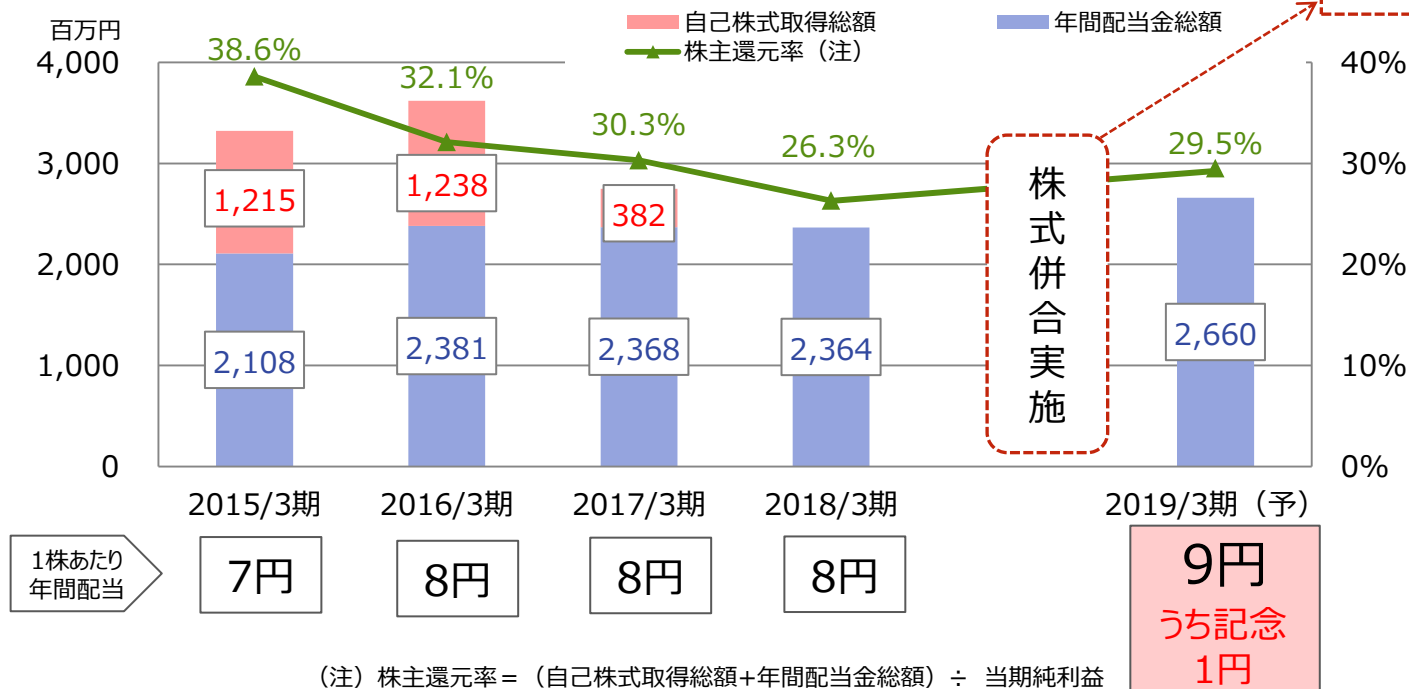
### 【創業140周年記念配当】

2018年11月1日の創業140周年を記念し、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、2019年3月期の中間期末配当金は4円50銭、うち50銭を記念配当とさせていただきます。期末につきましては、2018年10月1日に普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しておりますので、1株あたり45円、うち5円を記念配当とさせていただきます予定です。  
(株式併合考慮前では**年間1円の記念配当**)

2018年10月1日

- ◆単元株式数の変更  
1,000株→100株
- ◆株式併合  
10株→1株

## ◆配当金の推移



(株式併合考慮前)